



輛の浦学園だより



No.15

2023年（令和5年）12月4日

子ども達の成長を実感し、さらに期待する！

～輛の浦学園 第5回公開研究会の様子から～

第5回公開研究会を行いました。輛の浦学園の取組に興味を持たれた方々に多数ご参加いただきました。公開研究会では、日頃の取組や授業の一端を参加者が参観し、その感想やアドバイスを今後の学園生活に生かしていく場です。

授業参観後に「TOMOに学ぶ会」として2年生から9年生の児童生徒約20名と参観者が直接対話し、自分達が学んできたことを説明し質問に答えました。子ども達が自信を持って、自分の言葉で話せること、生き生きとした表情で学びを楽しんでいる姿に参加された方々も感心しておられました。



子ども達の真剣な声を受け止めます

〔参観された方の感想〕

- 元気いっぱいの笑顔とあいさつで迎えてくれうれしかったです。友達と声をかけ合いながら、また一人で黙々と学びに向かう輛の浦学園の子ども達の姿はすばらしかったです。
- 自分達が学習したことに自信を持って語れることは素晴らしいことだと思います。自分で考え、判断して行動（実行）することを続けてください。
- 「TOMOに学ぶ会」で説明してくれた生徒の話を聞いて学びに向かう姿勢を感じました。輛学と日々の教科の授業とのつながりなど掘り下げて尋ねても、その場限りの答えではなく、地に足の着いた返答をもらいました。それは輛の浦学園での学びが自分事として進んでいるからだと思います。

～さらなる発展のための学園会選挙～

来年度の学園会役員選挙（会長、副会長、役員）が行なわれ、総勢16名が立候補しました。公約では、「学園をさらに良くするために、前向きなきまりを示していきたい」「学年を超えて行事を行い、団結を強めたい」「協力して勉強できる環境を作りたい」など堂々と述べていました。立候補した児童生徒は、学園を良くしたいという決意をもって、真剣で緊張感のある演説を行いました。

学園会と力を合わせ、輛の浦学園の新たな歴史をつくっていきます。



選挙期間中、立候補者を支え続けた推薦者に感謝

「本物」に触れた驚きと笑顔。「近づきたい」という思いから新たな学びが。



特支学級は、五輪出場経験がある陸上の松田亮選手に走り方を学びました。7年生はPTCでヨガの先生を招き、体の使い方を教わりました。専門の知識や技術を持った方の話は、本当に面白かったですね。私たちの知的好奇心をたくさん引き出してくださいました先生方に感謝です！



7年生 PTC ヨガ。体が曲がるぞ！



わかめラーメンは無事完売！



一票の重みを感じ投票します。



← 3年算数が面白いぞ！



ハロータックスフェスタで琴クラブが見事な演奏をしました。



【3年算数・長さ】跳び箱世界記録の2m96cmを実際に表現してみました。

古里の民話の交流会に参加しました

中国5県で活動している民話グループの語り部さんたちが集まり、輛で交流会が開かれました。

語りの後は「百貫島物語」の舞台となった弁天島に足を運び、歴史民俗資料館の館長さんから説明を受けながら見学しました。学園からも3人の児童が参加し、地域の歴史に改めて触れました。

この様子は15日（金）11時頃、RCCテレビで放映予定です！

